



2024.12.20

郡山市立 日和田小学校 NEWS LETTER

文責 関 忠昭

Vol. 8

*** 12月 * (師走:師(僧)が東西を馳せる)**

年末の慌ただしさと真冬の寒さの中、子どもたちは元気に校庭を駆け回っていました。「お楽しみ会」の楽しそうな声が、校舎のあちこちで響いていました。

品竹先生

民話

民話教室



11月11日(月)～18日(月)まで、品竹悦子先生にお越しいただき1～4年生に「民話教室」を行いました。様々な民話や子どもたちが大好きな怖い話、手遊び、エプロンシアターなど多彩な手法と、先生の柔らかく軽妙な語り口に、子どもたちはお話の世界に引き込まれていました。

また、日和田の八幡神社に伝わる話や野口英世博士の話、安積疏水にまつわる紙芝居など、学年に応じて様々なお話をしていただきました。

放射

自分で霧箱を作る！
放射線セミナー

11月14日(木)に、茨城大学の中村麻子先生と東京医科歯科大学の戒田篤志先生を講師に、「放射線セミナー」を行いました。放射線の基礎知識を学んだ後、3・4年生のグループで放射線を可視化する装置「霧箱」を作りました。霧箱にライトを当て、放射性物質から飛行機雲のような飛跡が出る度に、「見えた」「すごい」と驚きの声をあげていました。



Pick Up ウィンターコンサート



(吹奏楽部・合唱部のウィンターコンサートは大盛況！)

ウィンターコンサート

Live



※コンサートの動画は、本校ホームページ及びインスタグラムで配信中です。

12月18日(水)には吹奏楽部が、19日(木)には合唱部が、体育館でウィンターコンサートを開催し、たくさんのお客様の催し、たくさんの保護者の皆様にご来場いただきました。クリスマス風のアイテムを身に付け、楽しく演奏する吹奏楽部。聖夜の温かなイメージを、きれいな歌声と美しいハーモニーで歌い上げる合唱部。6年生最後のステージは、心温まる、すてきなミニコンサートでした。

健康

病気の予防 * 養護教諭の授業 *

12月4日(水)に、養護教諭の佐藤先生が、6年生に生活習慣と健康の関係について考える授業を行いました。日本人の死亡原因の半数を超える「生活習慣病」の怖さと病気の種類・原因を知り、生活改善について考えました。「チエツクシート」をもとに自分の生活を運動・食事・休養(睡眠)の3つで見直し、改善に向けて「冬休みの生活の仕方」を考えました。人生百年時代を楽しく健康に生きるために重要な「望ましい生活習慣」を身に付けるため、今から取り組んでいきます。



* 管理栄養士の授業 * 食育教室

12月11日(水)から3日間、管理栄養士の桑嶋が、3年生に「食育教室」を行いました。「体に良いおやつ」とり方を考える授業で、子どもたちに人気のおやつ「ポテトチップス」や「チョコレート」「ジュース類」を例に、含まれている塩分や砂糖、脂質の量を具体的に提示すると、予想を超える多さに、子どもたちは驚きの声をあげていました。おやつ役割やおす改善策を考えました。「医食同源」の言葉通り、健康な体作りには「食」の大切さについて理解を深めていきます。



地域協働

書きぞめ教室

12月4日(水)と17日(火)に、**3.5.6年生**を対象に「書きぞめ教室」を行いました。後藤札子先生をはじめとする**4名の先生**方に、ご指導いただき、書初めの大きな筆を使って長い紙に書くという、貴重な経験をさせていただきました。先生方の丁寧で的確な指導のおかげで、時間になっても「もっと書きたい」と夢中になって頑張る子が多数見られました。マット、下敷き、硯、筆など**道具の全て**をご提供くださった後藤先生、ありがとうございました。



* 地域の専門家の協力 *

地域学校協働活動

11月19日(火)から3回にわたり、**関根幸子先生**を講師にお迎えし、「**ヒップホップダンス教室**」を全学年で行いました。サンボマスターやバウンディー、ミセスグリーンアップルなど、子どもたちがよく知る**人気曲**に合わせて、いろいろなステップや動きを練習しました。初めは恥ずかしそうにしていた子も、終了時には笑顔満開で、**心地よい汗**を流していました。足を痛められている中、ご指導下さった**関根先生**、ありがとうございました。



教育相談

学校と家庭との連携

8日間に渡った**教育相談**では、学校で頑張っている姿やご家庭での様子等について**情報の共有**を図りながら、お子様の健やかな成長に向け意見交換をさせていただきました。今後も、保護者の皆様と同じ方向を向き、目標を共有しながら教育活動を改善してけるよう努めて参ります。お忙しい中、お時間を作っていただき、ありがとうございました。



1

1月の行事予定

- ※ 1月3日まで学校閉庁日
- 6日(月) 仕事始め
- 8日(水) **3学期始業式**
(B案4校時 給食なし)
- 9日(木) 発育測定 (高学年)
発育測定 (のびわく)
- 10日(金) 発育測定 (中学年)
- 14日(火) 発育測定 (低学年)
- 17日(金) 箏教室 (5・6年)
高倉人形浄瑠璃見学(3年)
- 23日(木) 薬物乱用防止教室 (6年)
- 30日(木)・31日(金) 学カテスト

*** お弁当の日 ***

1月はありません

※ 8日(水)は給食なし

コラム Column

明日(12月21日)は「冬至」です。冬至といえば、かぼちゃとゆず湯が浮かんでできますが、実は冬至は、いろいろと深い意味のある、**とてもハッピーな風習**なんだそうです。
冬至は、北半球において太陽の位置が1年で最も低くなり「日照時間が最も短くなる日」です。1年で最も日が短いということは、翌日から日が長くなっていくということ。そこで、冬至を「**太陽が生まれ変わる日**」にとらえ、古くから**世界各地で冬至の祝祭**が盛大に行われていたようです。中国や日本では、**冬至は太陽の力が一番弱まった日**であり、**この日を境に再び力が甦ってくる**ことから、陰が極まり再び陽にかえる日「**一陽来復 (いちようらいふく)**」と言い、**冬至を境に運が向いてくる**と考えられていたそうです。
イギリスにも「**夜明け前が一番暗い**」ということわざがありますが、「今はうまくいかなくても、きっといいことあるよ!」そんな、**先人たちから私たちへの励ましのメッセージ**にも思えます。長く受け継がれている「風習」に込められた意味を知ると、昔の人の暮らしや思いが垣間見えてきます。「**伝統**」や「**風習**」が**後世に伝えているもの**……、それは、みんなの健康や幸せを願う「**温かな心**」なのかもしれません。

今年も、年明け早々「**能登半島地震**」という大災害に見舞われる波乱の幕開けとなりましたが、その後も、ガソリンや食品などの物価高騰や、GDP世界4位に転落(景気の悪化)、頻発する「闇バリエット」等の**凶悪犯罪**、世界各地で繰り返される**戦争や紛争**など、振り返ってみると、激動の一年でした。
間もなく迎える**2025年**が、全ての人にとって「**一陽来復**」と良いお年をお迎えください。

